



がくじ



摂南大学図書館報

No. 45

1996. 4

学而時習之、不亦説乎。（「論語」より）

一学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずや—

*題字は王羲之の書による

マルチメディア時代の読書



工学部・電気工学科教授 **野口 透**
のぐち とおる

このところ、毎日のように「マルチメディア」という言葉を見たり聞いたりする。メディアとは情報を伝える手段（媒体）のことである。では、「情報」とは何だろうか。目や耳から入ってくる事柄、といっは不正確である。いろいろな学問分野ごとに、それぞれ「情報」の定義があるが、私たちの日常生活の中では、「行動の基になる判断を行うために必要な外界からの刺激である」といえばよかろう。私たちは外からの刺激があったとき、これを判断して行動を起こす。このときの刺激が情報である。外界からの刺激はわれわれの五官を通じて取り入れられるが、必要な内容以外は単に雑音であり、無意識の内に捨て去られる。

一日24時間中に私たちが取り入れる全情報量のうち、視覚を通じての情報は全体の90数%を占め、聴覚が数%、その他が触覚（温度感を含む）、嗅覚、味覚による情報であるといわれる。情報の伝達手段としてのメディアは科学技術の発達により極めて多種多様になったが、それらの情報を取り入れる器官は、

依然として目と耳であり、感覚としては視覚と聴覚である。

図書館は昔の図書収蔵閲覧施設から、利用者に対する情報提供サービス施設に変わったし、活字以外に画像、音声、動画などの情報が色々なメディア（ビデオ、CDや新通信方式など）を通じ、時間・空間を超えて大量に短時間で得られるようになっている。

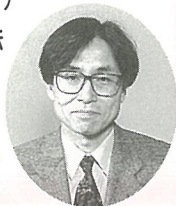
学生諸君は、図書館の利用に際して、当面の特定の課題に関する調べものだけでなく、いつ役立つかわからない（将来役に立つかも知れない）ことを、学生時代の暇と吸収力を活かして、蓄積することに努めて欲しい。情報が直接役立つのは先のことも知れないが、自分の専門分野以外の情報は人間性を豊かにするのに役立つ。古今東西の思想に触れ、自分の生き方を考えることも、青春時代の読書の効用である。読書は、テレビやラジオのようなメディアで眺めたり聞いたりするだけでは不可能な、思考の機会を与えてくれる。マルチメディアの時代にあっても、読書は最も基本的な情報入手手段なのである。

新入生に贈る図書館利用のすすめ

建築を学ぶ活字の苦手な(?) 新入生のための図書館利用法

工学部・建築学科講師

さの じゅんいち
佐野 潤一



充実した定期刊行物コーナーで国内・海外の建築雑誌を手にとって、素晴らしいカラー写真を眺めることからスタートです。空き時間や昼休みに「新建築」や「A+U」などを手始めに、座り心地満点のソファでリラックスしながらどうぞ。見ているうちに「一体これは何だ?」といった疑問が次々に湧いてくるはずです。そこで時には写真の横の短い

説明文に答えを探ってみてはいかがでしょうか。しかし、たぶん分からない言葉等がいっぱいで疑問は増すばかり、「答えを知りたい!!」ストレス(問題意識)は溜る一方です。そこで豊富な参考図書の揃ったレファレンスコーナーでストレス解消といきましょう。「建築辞典」等が答えてくれるはずですが、残念ながらまだまだストレスは残るでしょう。そこでどうなるか、ご安心あれ、このストレスは溜れば溜るほど、大学の講義の中でそれらの答えに巡り合える楽しみを大きくしてくれるのです。さあ、問題意識のストレスエネルギーを図書館で満タンにして、建築学のワンダーランドへスタートを切ってください。

とにかく聴くこと 一語学上達の近道一

国際言語文化学部講師

なかにし まさき
中西 正樹



中国語を専攻する新入生諸君から「四年間で中国語が話せるようになりますか?」という質問をよく受ける。答えは「ノー」。一年間の留学を終えて帰ってきたばかりの先輩は確かに話せる。でも数か月もたてば次第に衰えてくる。恥ずかしながら、私も中国から突然かかってくる電話にはしどろもどろだ。外国語を「聴き」、「話す」環境にない日本でできる外国語会話の学習は、「話せる」一歩手前までできればそれで十分と考えておいたほうがいい(実はこれが難しい)。そこで、できるだけたくさん聴くことをお勧めする。

ここで一つの提案だが、図書館の4階に足を運んでほしい。そこには、世界各地の言語文化に関する最新の音や映像のソフトがあふ

れている。何よりいいのは、館内に多様なAV機器が設置されていることだ。だから、語学ビデオで勉強したあと、CDでクラシックを聴いてリラックスするなどということもできる。ひまさえあれば毎日でも利用しよう。

中国語で「学習」と「読書」は同義語である。しかし、私たちの大学には活字という媒体以外にも、良質で豊富な音や映像が用意されているのだ。

大好きな本、大好きな映画を探してみよう

経営情報学部
経営環境情報学科講師

ひろた しんいち
広田 真一



これから始まる大学生活、クラブ、授業、サークル、コンパ、おしゃべり、遊びなど、やることはいろいろあるだろう。やれることは、ぜんぶやったらいい。だけど、ぜひその

合間にも、大好きな本や映画を次々と探してみてもいいだろう。

人によって好みはそれぞれだけど、おもしろい本・映画は本当におもしろい。みんなにも、そんな本や映画に出会ったときに、時間を忘れてしまったことがあるだろう。僕は、司馬遼太郎の歴史小説、曾野綾子のエッセイ、映画「カサブランカ」、「昼下がりの情事」などのファンだ。また、いい本や映画はとてもためにもなる。私たちの考えや夢を大きくふくらませてくれる。

むずかしいことよりもまずおもしろいことが一番だ。授業の合間に時間ができたら、ぜひ図書館に行って、自分好みの本・映画を探してみればいい。6階には文庫本コーナーがあるし、同じく6階にベストセラーのコーナーもある。また、4階には映画をビデオやレーザーディスクで観れるコーナーもある。大学時代にいい本や映画に出会えると、みんなの人生は大きく変わるかもしれない。

夢は図書館から

薬学部・衛生薬学科講師

なつき れいこ
夏木 令子



当大学の図書館、本館でも分館でも十分に大学生として楽しめますよ。さー！さー！！躊躇わず、積極的に入室して下さい。内部を眺めて下さい。新聞、週刊誌そして小説などの肩の凝らない本から難しい専門書まで大抵の本が揃っています。CD、カセット、ビデオで気分転換も出来ます。情報検索も出来ますよ。お気に入りの席を見つけて、チョット座って見て下さい。気分が良いですよ。さー豊かな人生を築くために、時間を図書館で使いましょう。社会は学生諸君に広い分野の知識を備え、学問的にも人間的にも研磨され、各々の人生の出発の日を迎えることを待ち望んでいます。大学生の特権です、時間の許す限り図書館へ、手を伸ばしている内に受験時

代に気付かなかった自分の夢と希望が具体化しますよ。興味の対象を出来るだけ広げ、それらに真剣に没頭して見たら如何ですか？きっと新しい自分が見出せますよ。大学生時代の4年間、図書館を上手に利用しましょう。1年1年それぞれの利用の仕方が有ります。1、2回生の時間に余裕ある自由な広がりから3、4回生の専門的な分野の勉強に、また就職活動の勉強にとね。まだまだあるよ。

?からはじめよう

法学部講師

みつなり みほ
三成 美保



本には4種類ある。全ページを何度も読みかえす本、いったん通読すればすむ本、一部をそのつど使う本、飾りでツンドクだけの本。最初のタイプの本は、手元においておくがよい。最後のものは、学生には無縁だ。ほとんどの本の利用法は、なかの2つ。レポートを書くとき、試験勉強をするとき、話題の本をちょっと読んでみたいとき、必要な本をすべて買うには、金がかかる。置く場所にも困る。そんなとき、図書館に行けばよい。

レポートや卒論のテーマを自由に選んでよいとしたら、わたしならこうする。まず、関係分野のコーナーに行き、おもしろそうな題の本を手にとる。ぱらっと目次をめくり、気に入った章だけを読む。いくつかの本を拾い読みして、「あれ、ここをもっと知りたいのに！」と思ったらめっけもの。巻末の参考文献一覧を見る。ぴったりの題をもつ本を見つけたら、オンライン検索機にむかおう。図書館にあるかどうかのチェックだ。なければ、新しい本なら、カウンターに申しでて、図書館で買ってもらおう。古い本なら、ナクシスなるものをつかって、よその大学にあるかないか確かめてもらう。本がとどくまでの数週間、やっぱり図書館の本めぐりをする。つぎのゼミでやるべき報告の下準備をかねて。

卒業生からのアドバイス ー私の図書館利用法ー

図書館は魔法の部屋

工学部・機械工学科96年卒
日本電信電話（株）勤務

いなだ
稲田 みどり



私にとって図書館は、やりたいと思った事がすぐ実行できる、魔法の部屋でした。

英語が話せるようになりたい！と思えば英会話カセットを借り、レポートをしなければ！と思えば参考資料集めに走り、インテリアデザイナーになりたい！と思った時には資料片手にデザインもしました。時間をつぶさなければいけない時には、最新雑誌をただで

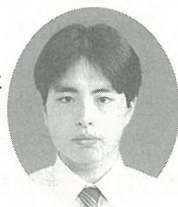
読み、旅行に行きたいと思えば「地球の歩き方」を読みあさり、そろそろ就職活動をしなければ！と思えばたくさんの対策本を借りました。移り気で、好奇心旺盛な私にとって、やりたいと思った事にすぐとりかかれる図書館は、まさに宝庫でした。でも、それに気が付いたのは、4回生も終わりになった頃。学生生活を振り返り、ふとああ図書館をもっと貪欲に使えばよかったな、もっと本を読みまければよかったな、と思いました。

新入生のみなさん、図書館は知識の宝庫です。大学生活4年間、長いようであつという間です。この限られた時間でより多くの事を吸収するためにも、ぜひ図書館を利用してください。利用しないと損ですよ！

私にとっての図書館

国際言語文化学部96年卒
（株）ダイエー勤務

ないとう あきら
内藤 輝



1回生、2回生の頃は、毎日、朝から夕方まで語学を中心とした講義がぎっしりと埋まっていました。それぞれ多くの課題やレポートを与えられていたので、提出直前になって図書館に駆け込み、辞書と睨めっこの日がしょっちゅうだったのを覚えています。“ここで集中しなければならない”という勉強は静かな図書館をお勧めします。その頃の私は講義の多さに不満を持っていた反面、ここで単位を取れるだけ取って、後で楽してやろうと思っていました。その甲斐あって、4回生ではゼミだけを履修することになり、就職活動や卒業論文、アルバイトにも専念できた事が良かったです。普段、本を読まない、どちらかと言えば活字嫌いの私でもこのように図書館を利用していました。またクラブ活動にお

いて文書を作成する際、よく4階のワープロを利用しました。それまでワープロを触ったことの無かった私でも、ある程度の機能は覚えられましたし、皆さんも是非、社会へ出られる前に慣れ親しんでおかれる方が良いと思います。図書館は単に本の貸し出しだけではなく、様々な機能があるので、それを自分なりにうまく活用してみてください。

やすらげる大学の空間

経営情報学部
経営情報学科96年卒
大阪府警察勤務

はらだ ひであき
原田 英明



冷暖房完備で設備も充実している図書館がこの大学にあるというのは、入学案内等で知っていたのですが、初めは足を運ぼうとはしませんでした。この状態のまま四年間、図書館に行かずに卒業する人は少なくないと思います。しかし私の場合、幸運にも図書館を利用する機会がありました。実際に見た図書館

は、すごく広々としていてグループ用また個人用の机も置かれ、参考書や資料も豊富にあり勉強しやすい環境でした。それに疲れたなら新聞や雑誌類を読むのも良し、図書館から見えるすばらしい景色を見るのも良し、という私が考えていた以上に快適な空間がそこにありました。私が利用した理由は、情報処理の資格取得の為に、専門分野の学習に役立ちました。

図書館を利用している人の多くはレポート作成や卒業論文作成の為のようですが、私のもう一つの有効の利用法は、クラブの始まる時間までの図書館利用です。この時間には、私の大好きな映画雑誌を見て過ごすのです。案外この雑誌は人気があるのか、行くと外の人を読んでいてという場合がよくありました。このように図書館で暇つぶしをしている人も多く、大学内で唯一ゆったりとした時間が流れている場所だと言えるでしょう。

図書館をうまく利用してこそ充実した大学生活を送れるのではないのでしょうか。

自分流の利用法を見つけよう

薬学部・衛生薬学科96年卒
大日本製薬（株）勤務

ありが けんいち
有賀 健一



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私は、ほとんど読書をしないので、図書館を利用するといっても、レポートや課題の作成、テスト前の自習（詰め込み作業！）をする場合がほとんどでした。ですから、私にとって図書館という場所は、決してやすらぎの場ではなく、常に時間に追われ、脳をフル稼働させなければならない「修羅場」であったように思います。

しかし、図書館の充実した設備や多くの文献が、レポートや課題を作成する際に、非常に役立ちました。又、枚方学舎には新たに閲覧室が増設され、開室時間も夜の10時までで

すので、より私達の強い味方になってくれます。

私は、図書館を利用することが比較的少なかったのですが、図書館の利用法について良いアドバイスを、うまく伝えることができませんでしたが、自分流の利用法を早く見つけ出してください。

図書館を自分のものにしよう

法学部96年卒
大和ハウス工業（株）勤務

おおやぎ やすし
大八木 康史



1回生のとき、初めて課されたレポートを作成するときに大きな手助けとなってくれたのが大学の図書館です。それ以来、私は、授業中に何か不明瞭な点があったとき、単位の取得に直接関わる長期休暇中のレポートの作成時に、定期試験時に、就職活動時に、そして卒業論文の作成時に、と何か事ある毎に図書館に足を運びました。大学の図書館はまさに専門書の宝庫なのです。じっくりと捜せば必ずその目的に十分に対応する本を見つけ出して満足いく成果を得ることができるでしょう。

また、図書館は大学施設内で最も快適な空間であると言えるのではないのでしょうか。一般講義室の座席とは違い、とても広くて座り心地も良く、周囲の雑音が耳にはいることはありません。そして、空調設備もしっかりとしてあるので、しらべものをするにも、ぼんやりと静かに時を過ごすにもうってつけの場所であると思います。私自身、自分なりには図書館をうまく利用することができたと思っています。よくボクシングでは、「左を制する者は世界を制す」と言われていますが、これと同じで、「図書館を制する者は大学生活を制す」といっても過言ではないと思います。

皆さんも自分なりの図書館利用法を見つけて実のある大学生活を送って下さい。

CD-ROM版検索システムを使ってみて

経営情報学部・経営情報学科96年卒

日本インターシステムズ(株) 勤務

ありのぶ たけひこ
有信 岳彦



図書館(本館)では4月から、CD-ROMによる所蔵検索機1台を普通図書室(6F)に設置しました。このCD-ROMに収録されているのは、本学図書館所蔵の図書・雑誌のうち学術情報センターに登録した書誌データ約8万件。キーワード検索など、本学の所蔵検索システムである「TLIS」ではできない検索ができるようになっています。

情報処理技術研究部に所属していた有信岳彦君に、CD-ROMの検索を体験してもらいました。以下はその体験記です。なお分館ではすでに昨年9月から設置しています。[図書館]

私は、今までの所蔵検索システムには少し不満を感じていました。というのは、ある本を探そうとしても、そのタイトルや著者名がはっきりしていないと探せなかったからです。そのため、たいていは本棚を端から見ていて本を探していました。しかし、このCD-ROM検索ソフトを使うと今まで以上にいろいろな本を探することができます。そこで、このCD-ROM検索ソフトを簡単に紹介しましょう。

このCD-ROM検索ソフトは、2種類の検索方法により本を見つけたことができます。一つは、「ブラウズ」という方法です。ブラウズとは、あちこち本をのぞいてみるという意味があり、このメニューを選ぶと、本のタイトルが一覧表示されます。この検索方法には、タイトル順、著者・団体順、請求記号順の3種類があり、タイトル一覧表から本を選ぶと詳しい情報を見ることができます。この方法は、求める本のタイトルや著者名がわかっている場合に大変便利です。例えば、メニューで「ブラウズ(タイトル順)」を選び、「タイトル(ヨミ)」の欄に「コンピュータ」と入力してみると、「[コンピュータ]」で始まるタイトルが一覧表示されます。また、各本の詳しい情報も見ることができます。

そして、もう一つが「検索」という方法です。この方法は、キーワードを指定し、そのキーワードを含む本を検索する方法で、本のタイトルや著者名がわからない場合に大変便利です。この方法を選ぶと検索語(キーワード)を入力する画面が現れ、「実行」キーを押すと指定された検索語(キーワード)を含

む書籍が一覧表示されます。あとは、その中から本の詳しい情報をみて、どの本を読むか決めればよいのです。

私は、たいてい図書館を訪れる場合、目的の本を探しに行くというよりも、ただぶらりと何かいい本がないかなと思って図書館に行くことが多いので、例えば歴史の本が読みたいと思っても、歴史の棚を端から順番にみていかなければならず、見逃してしまったりすることがあり少し大変でした。こんな時、このCD-ROM検索ソフトのキーワード検索を使えば、簡単に本を探すことができます。例えば、卒論やレポートなどをパソコンのワープロソフト「一太郎」で書こうと思ったけれど、使い方がわからないという場合には、メニューで「検索」を選び検索語(キーワード)に「一太郎」と入力し「実行」キーを押すと、一太郎について書かれた本が一覧表示されます。タイトルがわかってしまえば、その本を棚から見つけやすくなります。

このように2つの方法を使い分ければ大変便利なものです。ぜひ、あなたもこのCD-ROM検索ソフトを使って、いろいろな本とめぐり合うチャンスをつかんで下さい。

現画面	検索メニュー画面	007F 図雑
検索方式を選択し、実行(F10)を押してください。		
1.ブラウズ(タイトル順)	タイトル一覧(タイトルのヨミの順番に配列)を表示し、本を選ぶ方式です。	
2.ブラウズ(著者・団体順)	タイトル一覧(著者・団体見出しの順に配列)を表示し、本を選ぶ方式です。	
3.ブラウズ(請求記号順)	タイトル一覧(請求記号見出しの順に配列)を表示し、本を選ぶ方式です。	
4.検索	キーワードを指定して検索する方式です。	
終了	ヘルプ 実行	

CD-ROM版検索システムの検索メニュー画面

〈図書館利用ガイドンス〉 | 最新5月20日更新

入門書コーナーの役割

まずは「入門書コーナー」へ

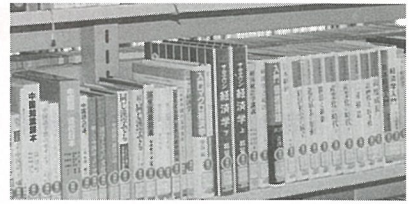
新入生の皆さん、大学に入られたらまず、図書館に来てください。そして入門書コーナーの前に立って下さい。そこには皆さんがこれから勉強する分野の専門書がズラッと並んでいます。それぞれの分野の図書が各学部・学科・コースごとに色分けされて並んでいます。これらの図書は、指導教員によって選ばれたもので、皆さんが4年間で勉強する分野の代表的で、入門的なものです。厳選されて100冊前後になっていますので、一目でその全体像を見ることができます。全体像を知っておくことは非常に大切なことです。

それでは、皆さんの大学における学習・研究活動の出発点というべき「入門書コーナー」の仕掛けについて紹介しましょう。

図書館の中の小図書館

本学図書館には約40万冊の図書があります。これらの図書は『日本十進分類法』によって、その内容により大きくは10種類に分類され、番号が与えられています（この番号は図書の所在を表す番地のようなものです）。例えば、哲学なら「1」というふうに。

もしあなたが、「国際言語文化学部・インドネシア語東南アジア文化コース」を選んでいたら、学習に必要な図書はインドネシアを中心とした言語、宗教、歴史、地理、政治、経済、産業、芸術、文学等々、あらゆる分野にわたっているでしょう。とてもではありませんがあなたの専門分野を一目で見渡すなどということは不可能です。それを一目で見える仕掛けにしたのが「入門書コーナー」です。ですから、このコーナーは図書館を凝縮した「図書館の中の小図書館」ということができます。



水先案内の役割

このコーナーにはもう一つの仕掛けがあります。ここに陳列された図書のラベルに記された分類番号を頼りに、一般の配架場所（普通図書室、参考図書室、視聴覚室などの）をたどって行けば、そこには関連図書が多数あるはずです。たとえば『『インドネシア現代政治史』に似たものはないかな』と思ったら、その分類番号「312.24」の所に行ってみるのです。するとそこには『インドネシア現代政治の構造』や『インドネシアーナショナリズム変容の政治過程』などの図書を見つけることができます。また、この分類番号をキーにして所蔵検索機で調べてみると、16冊の図書が表示され、普通図書室のほかに参考図書室や保存書庫にもあることが分かります。このように、ここに並べられている図書が関連図書へ水先案内の役割もしているのです。つまり、ここの図書から、分類番号をキーとして図書館の全蔵書40万冊に見えない糸が張りめぐらされているという、そんな仕掛けなのです。

それでは皆さん、この「入門書コーナー」を起点に、コーナーの図書群を道標に、学習・研究の旅へと出発して下さい。もし道が分からなくなったときは係員に尋ねて下さい。図書館はあらゆる手段を使ってあなたたちをサポートします。

注

このコーナーの図書には「禁帯」のラベルが付いていて、貸出はできませんが、同じ図書が一般の配架場所にありますので、そちらをご利用下さい。

〔図書館〕

開館時間を19:00まで延長!

図書館では、利用者へのサービス向上のため、今年度から全図書室の開館時間を19:00まで延長します。

今回の変更で、視聴覚室・学術雑誌室（本館4階）は、これまでよりも2時間10分延長されることになり、5時限目の授業終了後も十分に利用できるようになりました。ビデオテープやカセットテープを使った語学学習、レーザーディスクによる名画観賞、ワープロによるレポート作成など、みなさんのご利用をお待ちしています。

変更後の各室の開室時間はつぎのとおりです。

【本館】

普通図書室、参考図書室

視聴覚室・学術雑誌室・雑誌書庫

第1～3閲覧室（ただし、利用状況によって一部変更します）

9:00～19:00

第4閲覧室

9:00～22:00

【分館】

普通図書・参考図書コーナー

学術雑誌室

9:00～19:00

閲覧室

9:00～22:00

*保存書庫の使用は18:00まで

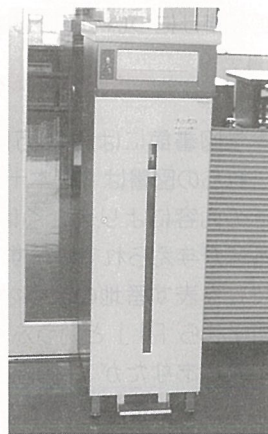
オーバーナイトローン（一夜貸し）制度スタート（本館）

——— 参考図書など禁帯出図書も貸出、
閉館時はブックポストに返却 ———

図書館（本館）では、閉館後館内に眠っている図書資料を利用者のみなさんに少しでも有効に利用していただくため、閉館時間の30分前から次の開館日の9時30分まで図書貸出を行う「オーバーナイトローン（一夜貸し）」の制度を、4月10日からスタートさせます。対象となる図書は普通図書と参考図書で、禁帯出扱いの図書も含まれます。貸出・返却の受付は普通図書室（6F）と参考図書室（5F）の2カウンターで行い、閉館時の返却用として普通図書室前に図書返却ポスト（ブックポスト）を備えます。

この制度により、閉館後、辞書・事典などの参考図書や指定図書など禁帯出扱いの図書を借り出して学習することなどができるようになりますので、どしどし利用してください。

なお、枚方分館ではすでに94年9月から同制度を実施しており、多くの利用があります。



ブックポスト

編集後記

- ・新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
- ・今号は、新入生歓迎号として企画しました。先生、先輩、図書館、それぞれからの貴重なアドバイスを掲載しています。参考にしてください。
- ・図書館では、今年度も「新入生ライブラリーツアー」を実施します。配架のルールから検索機の操作方法まで説明しますので、ぜひ参加して早く図書館に慣れてください。
- ・今号にご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。

摂南大学図書館報「学而」No.45 1996.4

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL. (0720) 39-9112
枚方分館 〒573-01 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL. (0720) 66-3102
印刷 (株)関西廣済堂 〒560 大阪府豊中市蛸池西町2-2-1 TEL. (06) 855-1100